科目名 ：	書道Ⅰ	単位数 ： 2 単位	必要スクーリング出席回数： 8 回
使用教科書 ：書Ⅰ （光村図書）			
学習書 ・副読本 ：：なし			

	年間総数	１範囲	２範囲	３範囲
レポート [R]	6 枚	2 枚	2 枚	2 枚
スクーリング [S]	20 回	8 回	6 回	6 回
テスト [T]	0 回	×	×	×
その他 （課題・実習等）				

1 担当者からのメッセージ（学習方法等アドバイス）

・文字を書くことが苦手でも丁寧に取り組めば大丈夫です。
・教科書をよく見て、特徴を捉えながら書いていくことが大切です。
・スクーリングには必ず書道用具を持参してください。（大筆・小筆・半紙・墨液）
※下敷き・文鎮・硯は学校で共通のものを使用できます。

2 学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：書への関心・意欲・態度	b ：書表現の構想と工夫	c ：創造的な書表現の技能	d ：鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	・作品および記述の点検（レポート） ・制作の様子（スクーリング）	・作品および記述の点検（レポート） ・制作の様子（スクーリング）	・作品および記述の点検（レポート）	・作品および記述の点検（レポート）

・学年末に５段階で評価する。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
1範囲	漢字の学習(楷書)	1.書写の復習 ・半紙作品(2字) 2.楷書の学習 ・九成宮醴泉銘 ・顔氏家廟碑	○		○		a.基本的な用具・用材の扱い方を理解しようとしている。 a.表現方法の基礎・基本を身に付け、書写能力の向上に努めている。 c.漢字の基本的な点画や線質の表し方と用筆・運筆の関係を理解し、創造的な表現を身に付け表している。	・レポート ・スクーリング
2範囲	漢字の学習(行・篆・隷書)	1.行書の学習 ・蘭亭序 2.篆書の鑑賞 ・泰山刻石 3.隷書の鑑賞 ・曹全碑	○	○		○	a.古典の美とその技法に関心をもち、表現技法を高めようとしている。 c.漢字の基本的な点画や線質の表し方と用筆・運筆の関係を理解し、創造的な表現を身に付け表している。 d.鑑賞と表現は相互に関連していることを理解し、書のよさや美しさを感じ取っている。	・レポート ・スクーリング
3範囲	仮名・漢字仮名交じりの書の学習	1.仮名の学習 ・基本用筆 ・いろはうた 2.漢字仮名交じりの書の学習 ・創作作品制作		○	○	○	b.仮名の書の美に対する感性を働かせて、自らの意図に基づいて表現を構想し工夫している。 b.漢字と仮名の字形や文字の大きさなどが全体の構成に関わることを理解し、表現を工夫している。 c.仮名の基本的な線質と用筆・運筆との関係を理解し、創造的な表現を身に付け表している。 d.鑑賞と表現は相互に関連していることを理解し、書のよさや美しさを感じ取っている。	・レポート ・スクーリング

※ 表中の観点について　a：書への関心・意欲・態度　　b：書表現の構想と工夫

c：創造的な書表現の技能　　d：鑑賞の能力

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。